

● 事業のきっかけ

HAT神戸は、平成10年4月の街開きから18年が経過。HAT神戸の灘区エリアであるなぎさふれまちの地域においても、県営・市営住宅、UR都市機構各団地の入居者が高齢化し、自治会がなくなる棟も出てきています。ふれまちもメンバーが高齢化しており、「後継者を育てなければ」と取り組みを始めています。「イクメン料理教室」はその取り組みのひとつで、今回で2回目です。

● UDのポイント・地域特有の取組

この日は5組の親子が参加。「イクメン料理教室」ではありませんが、父親、母親、子どもを合わせて家族4名まで参加できるようになっています。調理に参加できない小さな子どもは、調理室の隣の保育ルームで、神戸大学のボランティアの学生に遊んでもらえます。この点も育児中の家族が参加しやすいようになっています。また、実施後のアンケートで、内容の改善もしているそうです。

献立は、料理に不慣れな男性にも作りやすい料理が生まれ、子どもも楽しんで手伝えるような作業も考えてあります。子どもたちは、一口オムライスをお花に型抜いたり、父親に助けをもらってオムライスをラップに包んだり、母親たちが見守る中、父親と一緒に料理を楽しんでいました。

料理教室は、ふれまちスタッフも調理補助に多数入っておられ、調理から試食まで時間を共にすることにより、参加家族同士だけでなく、地域交流の場にもなっています。

● 期待されるUDの効果

「灘区のまちづくりの将来像に、『住み続けたいまち』とある。この地域を住み続けたいまちにするために、どうすればよいか。常に意識している。」と副委員長。この取り組みのためにも、ふれまちの運営は、若者が企画して、年配者が役所の手続きなどバックアップをするような形を目指しておられ、子育て世代がふれまちに親しめるよう、工作教室、卓球、ラジオ体操、餅つき大会など、さまざまな取り組みをされています。副委員長は、「小さく始めて、続けること。5年10年の積み重ねが大切。」とも。これらの取り組みの継続より、この地域に若い担い手が育っていくことが期待されます。

<「イクメン料理教室」献立>

- ①レモンティ風味のチキンマスタードグリル
- ②一口オムライス
- ③柿豆腐
- ④豆乳スープ



彩りよく、子ども大人も嬉しいメニュー



保育ルーム



うまく包めるかな



ずいぶん準備がすすみました



今回の取材では、地域活動を行う場合に非常に大きな課題となっているマンションや公営住宅地域への対応に正面から懸命に取り組んでおられる姿に感動すら感じさせられた。まだまだ理想には遠い途上過程にあるということだが、いつかまた訪れてみたい。(N)

● 事業のきっかけ

小野柄ふれまちでは、毎年1月上旬に、年始の挨拶会を委員同士で行って行っていました。これを「地域の皆さんに来てもらえるような行事に」と、婦人会の協力を得て、センターにお越しの地域の方に、手作りのちらし寿司を振舞う「新春のつどい」を平成12年度に始めました。平成18年頃からは、地域の紹介で獅子舞により、平成23年頃からは和太鼓演奏により、新年気分を盛り上げています。

● UDのポイント・地域特有の取組

当日は、お昼前から、地域のお年寄りが三々五々センターに集まり、配られた手作りのちらし寿司をいただきながら、おしゃべりに花を咲かせていました。ふれまちスタッフは、給仕の合間にお越しの地域の方に話しかけ、雑談しながらさりげなく体調などを気遣っておられました。

来場者に振舞われるちらし寿司は、前日から仕込みがされ、当日朝からふれまちスタッフ10名が腕を振るった力作です。具たくさんでやさしい味付けのため、参加者に好評。つどいの散会時には、参加者から口々にお礼の言葉が寄せられ、スタッフの励みになっています。

しばらくすると、センターの中庭に並べられた和太鼓の演奏が始まりました。最前列には児童館の子どもたちが陣取り、後ろからお年寄りがゆったりと見物。迫力ある演奏に自然とおしゃべりも控えめに。演奏後は、子どもたちのために和太鼓体験の時間も。バチを手に熱心に説明に耳を傾け、体験に取り組む子どもたちを、高齢者があたたかく見守っておられました。

● 期待されるUDの効果

新春のつどいは、季節行事を通じて、地域のふる里づくりを目指す小野柄ふれまちの取り組みのひとつで、一年を通して、七夕、サマーフェスティバル、三世代交流輪投げ大会、餅つき、新春のつどい、といった行事を実施しています。このほか、毎月定例の行事では、ふれあい喫茶、給食会などのほか、平成27年度からミニデイサービス「ふれあい交流会」を始めるなど、日々の行事にも積極的に取り組んでいます。

「さまざまな季節のふれまちの恒例行事が、参加者のあたたかな記憶として残ってほしい。」と委員長。地域の人々がこうした行事に参加することで、自然と地域内のつながりや地域への愛着が生まれ、思いやりを持ち寄り合う住みやすいまちづくりにつながっていくことが期待されます。

<ときめき鬼塚太鼓>

灘区稗田小学校が拠点の「稗田わくわくクラブ」(※)の「鬼塚太鼓教室」の子どもたちと、その指導をしている「鬼塚太鼓」(灘区水道筋拠点に活動中)のメンバーで構成。

「新春のつどい」では、子ども8人、大人7人が元気いっぱい演奏。神戸マラソン沿道応援など地域行事にも多数参加し活動しています。

(※)子どもから高齢者までが参加できる地域スポーツクラブ



おしゃべりに花が咲きます
振舞いのちらし寿司



和太鼓演奏の様子



和太鼓演奏体験



内容を少しずつ変えながら長年にわたり継続することで、幼児から高齢者まで幅広い世代の交流がなされ、人のつながりを深くすることに貢献しています。季節の行事を続ける一方、新たに「ふれあい交流会」を始めるなどいろいろ工夫がされていると感じました。(T)